

## 残薬調整バッグ事業の趣旨とイメージ

### 事業概要

区が作成した残薬整理に使用するバッグを薬剤師会及び加盟薬局の協力をいただいて、効果が見込まれる65歳以上の高齢者を主な対象として配付する。対象者は自宅にある残薬等をバッグに入れて薬局へ持参し、薬剤師により服薬状況・残薬等の確認を受け、残薬の整理のほか、適切に薬を服用できるよう指導を受ける。

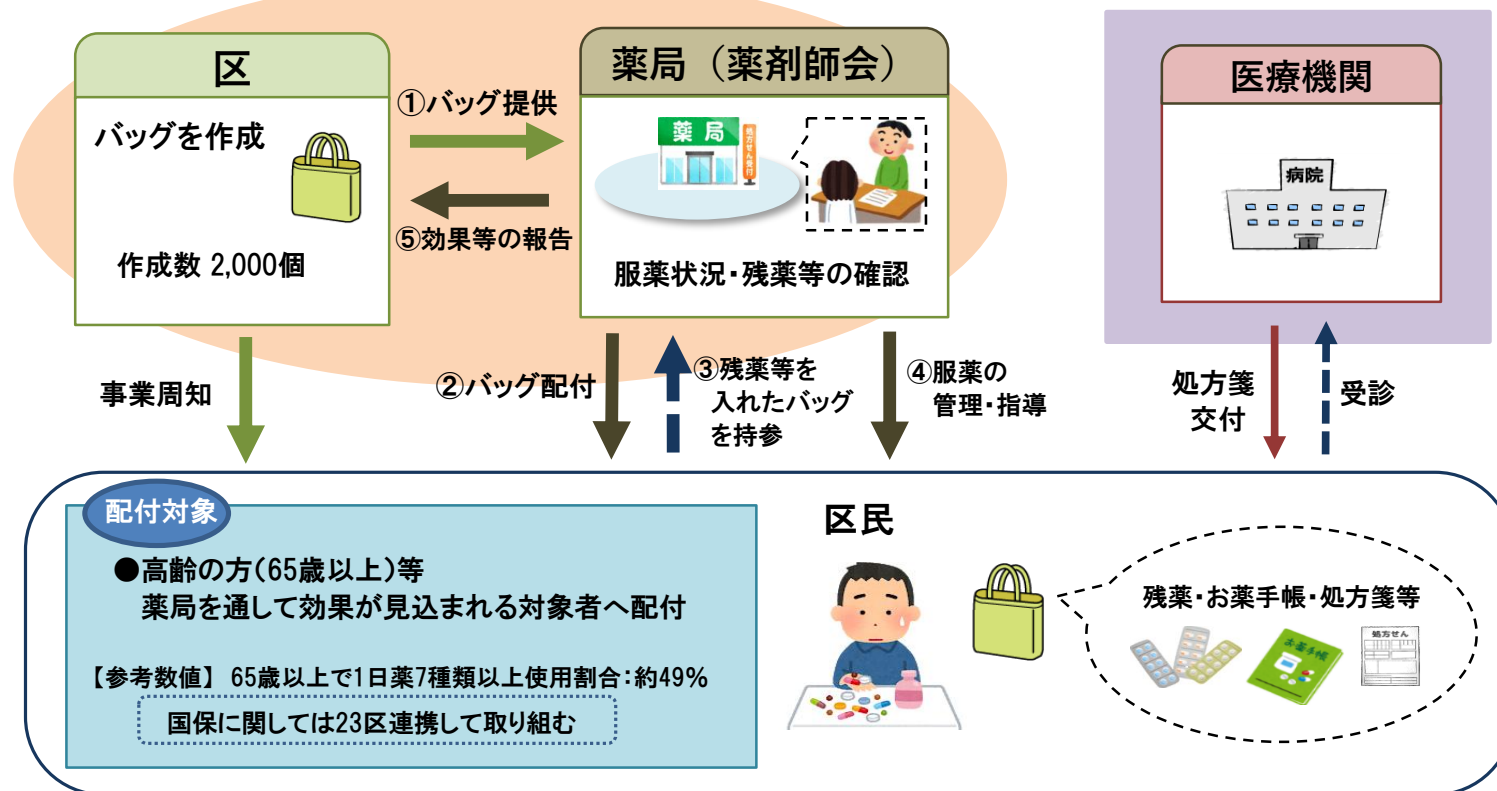
### 現状の課題

複数の病気を抱え多種類の薬を処方されている高齢者等において、飲み忘れや飲みにくさにより服用しきれず多くの薬が自宅に残ってしまう「残薬」が問題となっている。これにより、適切に服用しないことによる病状の悪化や健康への影響のほか、医療費の増大にもつながっている。

### 事業の効果

バッグの活用により、利用者がかかりつけ薬局を持つ仕組みづくりをサポートし、残薬の削減を図るほか、重複服薬対策や薬剤併用禁忌防止等につなげ、薬局による継続的な服薬情報の管理・指導により、適切に薬を服用できるよう支援体制を整備する。その結果、利用者の健康管理の促進、医療費の適正化につなげる。

### 事業イメージ



### バッグ仕様案

